

みずえだに新聞

Vol. 20
2017年7月
夏号



院長のささやき

今年も・・・

梅雨も明け、暑さもだいぶ厳しくなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？子供たちは夏休みに入り、毎日宿題に追われているかも知れませぬね。お母さん方は朝から晩まで子供たちの世話で余計忙しさが増していらつしやるかも知れませぬね。それぞれの立場で夏休みも様々ですが、病気やけがなどに気を付けながら、この夏を乗り切って頂きたいと思います。

さて今回の「院長のささやき」コーナーでは数年前から取り組んでいる、「一年に一つは何か資格を取る」という目標の今年の成果についてお話ししたいと思います。

結論から申しますと、今年も無事資格を取得する事が出来ました。「医療環境管理士」という資格です。簡単に言うと医療現場における感染予防対策のプロ

フェッショナルという事です。

昨今、新型インフルエンザ、高齢化、耐性菌の増加などで医療現場における院内感染のリスクが高まっており、感染管理の体制作りや職員に対するの教育活動などが非常に重要になっていきます。基本的には一般の病院に於いて様々な職種の人たちが連携し、チームを組んで達成するべきものですが、当院のような歯科に於いても非常に重要な事案であることは間違いありません。

歯科の治療では、我々医師、歯科衛生士、歯科助手などが直接患者さんの口の中に手を入れて治療、処置を行わなければなりません。口の中には様々な菌が存在します。従って徹底的な感染予防対策を施さなければなりません。そうやって初めて治療自体が成立するのですから。当院でも様々な感染対策を講じておりますが、今回は私自身がより専門的な知識を得る事によって更なる感染防止につながればとの思いで取得しま

した。せっかく資格を取るのであれば、少しでもためになる資格を取ればと、老体に鞭打って勉強しました。年を取るというのは本当に恐ろしいものです。こんなに勉強してもなかなか頭に入りません。子供たちは今のうちにいっぱい勉強して下さいね。若いうちはスポンジが水を吸い取るようにいくらでも頭に入りますから。大人になって後悔しないためにも。

今回、二次試験は福岡でありましたが、色んな地域の色々な職種の若者たちとグループワークを行いました。とてもいい経験が出来たと思います。そして次の資格取得へと意欲が湧いてきました。若い者には負けてられん！

今回の言葉

努力は必ず報われる。

もし報われない努力が

あんなならば、

それはまだ努力と呼べない。

王貞治

お知らせ

お盆休みは

八月十三日～十五日

と致します。



スタッフ通信

歯科助手

本庄利恵

九州の小京都と言われる飫肥城に行って来ました。時期的にちょうど良かったのか、飫肥城まであじさいに囲まれながら楽しいドライブを満喫し、あつという間に到着。案内所にマップを貰うために立ち寄り、だいたいどのくらいで周れるのか尋ねたところ、「2時間で周れます」と・・・その言葉を信じた私が悪かった・・・。全入館チケットを購入し、いざ出発!! 3ヶ所見終わった時点ですでに2時間経過。コース外の天然記念物のクスも見たくて更に時間が経過し、残りはバタバタと見学し全身汗だくになりながら全て制覇!!

十時三十分到着、十六時三十分完全制覇。さて私は何時間飫肥に居たでしょうか? (あの言葉を信じたばかりに・・・)

どう歩いたら2時間で済むのか・・・でも本当に楽しかったです。

もちろん城下町も良かったですが、コース外のクスはお勧めです。あと飫肥は盆地になつているので想像以上に蒸し暑いですから、行くときには気を付けて下さいね。



みんな、ドライブ旅行
楽しそうだねえ♪

受付事務

今掛真菜

私は季節の中で夏が一番好きです! 特に夏の海が好きで、晴れた日は海に出かけたくなります。鹿児島島の海もいとこころはありますが、以前テレビで紹介されていた福岡の糸島の海岸には大きなブランコがある所があると知ったので観光がてら行って来ました。乗ってみるとブランコの正面に海が広がり、気のせいか潮風に押されてさらに迫力が増したように感じました。

その他にも海沿いを少し車で移動するだけで、海を眺めながら食事が出来たり、色々な写真スポットがあつたりと、夏を感じられる素敵な場所がたくさんあります! ドライブ好きな人には是非オススメです!

!!(^^)!!

みなさん、楽しい夏を過ごしましょう



ちょっとためになる医療情報

手足口病

手足口病とは？

手足口病は夏季に流行し、7月にピークを迎えるウイルス性の感染症です。原因ウイルスは「エンテロウイルス」と「コクサッキーウイルス」で、複数の種類があるので何度もかかる可能性もあります。患者のほとんどが小児で、5歳未満の小児が80%を占めますが、まれに大人にも感染します。

《こんな症状に要注意》

- 潜伏期間は3～6日
- 口の中、手のひら、足の裏や甲に水泡性の発疹、発熱、爪がはがれることも
口内炎の痛みから、飲食を受け付けずに「脱水」になることも
- まれに髄膜炎の合併

《かかってしまった時の対処法》

- 刺激のあるものは避けて、のど越しの良い冷たい飲み物を与えましょう
- かまずに飲みこめる、刺激の少ない食べ物を与えましょう



★ポイント★

保育園などへの登園の目安は、発熱（熱が下がってから1日以上経過）・口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれることなどです。

♪ 3大夏風邪♪



夏になると子供を中心に
患者数が増える感染症

- ① 手足口病
- ② ヘルパンギーナ
- ③ 咽頭結膜熱（プール熱）

★例年6月から8月にかけてそれぞれの流行がピークを迎えますので、特長や注意点を確認し、事前の感染対策に備えましょう。

何でも瓦版

誕生会 IN 城山



先日城山観光ホテルの中華「翡翠廳」で五、六月生まれの人達の誕生会を開催しました。この月は該当者も多く、さらに私自身も含まれるため、ちよつと奮発して豪華な食事を頂きました。食事が美味しいとお酒も進みます(^^)ちよつどキャンペーン期間中で、なんと食べ放題コース！みんなお腹がはち切れんばかりに食べていました。

これぞプロ！

医院の名前にもなっている「みずえだに」という苗字。漢字で書くと「水枝谷」と書きますが、いまだかつて初対面の人に正しく読んでもらった事なかったのですが、先日ある飲食店で領収書を書いてもらうために、名前は？と聞かれたので、言ってもまた聞き直されるのが落ちなので、名刺を渡した所、そこご主人は何と正確に「みずえだに」と読んで下さいました。あまりの驚きに、「良くお読みになれますねえ」と尋ねてみると、そのご主人曰く、「お客様に失礼にならないように、鹿児島県の電話帳の苗字はなるべく読めるようにしているんです。」と。なんて立派な心構えだろうとそのプロ意識に心の底から感銘したので、どうしても思い皆さんに紹介させて頂きました。

幸恵先生の

歯のはなし

暑い日が続き、夏本番といった毎日です。日も長くなり、仕事が終わってもまだ外が明るいことが多くなりました。夕暮れ時の匂いはそれぞれ季節ごとに違って、子供のころを懐かしく思い出すことが多いです。夏の夕暮れの匂いをかぐと、子供のころ、浴衣を着て遊びに行った花火大会や六月灯の事を思い出します。子供のころからインドア派の私は、夏もあまり外で遊んだ記憶がありませんが、夏休みの午後遅い時間になると、磯海水浴場に連れて行ってもらい帰りに両棒餅を食べるのが楽しみでした。

さて、子供たちは待ちに待った夏休み。お母さん方は悩み多い夏休みの到来です。夏休みは虫歯の危険がいっぱいです。何故ならおやつを食べる機会が増えること、歯磨きを忘れる事が増えるからです。給食後には毎日歯磨きしていた子供たちも、家にいると忘れてしまうなど、何かと生活のペースが乱れがちになります。おやつは食べ始めの時間を決めるだけでなく、15分程度で食べ終わるようにしましょう。また熱中症対策に飲むスポーツドリンクの飲み方に注意しましょう。炎天下で長時間もスポーツをするなど脱水が

心配される時は、スポーツドリンクを少し薄めた物の方がお勧めです。スポーツドリンクには糖分が含まれているため、お風呂上りや通常の外遊び程度の発汗でちよこちよこ飲むことは虫歯のリスクを高めるためお勧め出来ません。また炭酸飲料は、糖分だけでなく炭酸自体も歯を溶かす性質があります。時間を決めてただら飲みにならないように気を付けましょう。そうは言っても、一度だから飲んだから虫歯になるというわけではありません。特別な時は、アイスやジュースを楽しんで、しっかり歯磨きをしましょう。夏休みの終わりにむし歯がいっぱいにならないよう、楽しい思い出はいっぱい作りましょう。

